

## ITの仕事と職場組織に与える影響

### 「情報技術改革と勤労者生活研究委員会」(\*主査)

- \*竹内 宏(竹内経済工房代表) 若林 直樹(京都大学大学院経済学研究科助教授)  
 大木 栄一(日本労働研究機構副主任研究員) 鷲谷 徹(中央大学経済学部教授)  
 早見 均(慶應義塾大学産業研究所助教授) 竹内三保子(カデナクリエイティブ代表)  
 前原 直樹(労働科学研究所所長) 藤村 博之(法政大学経営学部教授)  
 赤堀 正成(労働科学研究所研究員) 須賀 恭孝(連合経済政策局長)  
 谷口 元(前連合経済政策局部長) 柏木 勉(電機連合産業政策部専門部長)  
 小菅 元生(日本サービス・流通労働組合連合百貨店部会担当部長) ほか

本研究では、IT化の進展に伴い、職場や職務、仕事の内容等に変化が起きているのか、また、起きているとすればどのような変化が生じているかを明らかにするとともに、さらに、IT化と事業構造改革やリストラとの関係、およびIT化の精神的健康への影響を分析した。

調査・分析の結果、IT化(ITシステム化・情報ネットワーク化)は、着実に進展しており、中でも、パソコンの普及は調査対象者の属する企業のほぼ全数に及んでいる。また、IT化は、リストラ、人事制度改革を促進する技術的なプラットフォームとなっている側面が見られるとともに、「職務範囲」を拡大させ、「定型業務」を抑制することが分かった。そして、IT化と精神的健康との関係については、IT作業頻度が高い人やIT作業での負担を大いに感じている人ほど精神的健康は低くなっている。一方、自己の職業能力が高いと評価している人ほど精神的な健康度は高い。次に、ITリテラシーについては、コンピューターの「読み書き算盤」に当たるデータ入力、ワープロ作業、電子メールの送受信、表計算や図表の作成に関しては、誰にでもできる技能になったといえ、調査対象者の8割以上が「できる」と答えている。そして職業生活の満足度は、ITネットワークレベルやITリテラシーなどの向上とは関係なく、事業構造改革や人事処遇制度の実施状況、将来不安に影響されている。

### 目次

#### 第1部 アンケート調査編

第1章 事業構造改革とITシステム化の職場・職務への影響

第2章 IT化に伴う職場の仕事の変化

第3章 雇用・仕事不安とキャリア志向

第4章 IT化・リストラと労働時間

第5章 ITリテラシー 次のステップ

第6章 精神的健康への影響

第7章 労働生活の質と仕事関連の満足度

#### 第2部 ヒアリング編 総論